

第76回東北地方交通審議会  
船員部会 議事要録

平成27年 2月20日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会

## 第76回船員部会

日 時 平成27年2月20日（金） 16:00～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 長谷部部会長、高橋部会長代理、佐々木委員、  
船津委員

労働者委員 : 紺野委員、正路委員、鈴木委員

使用者委員 : 佐藤委員、鶴本委員（欠席）、湯村委員

運輸局 : 矢島海事振興部長、村木海事振興部次長  
遠藤船員労働環境・海技資格課長  
鈴木船員労政課長  
佐々木労政係長

議 題 (1) 管内の雇用等の状況について

(2) その他

### 配付資料

- 資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料（平成26年12月分）
- 資料2 新規求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料3 有効求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料4 新規求人・求職数（全国）
- 資料5 有効求人・求職数（全国）
- 資料6 有効求人倍率（東北管内）
- 資料7 有効求人倍率（全国）
- 資料8 密閉区画における救助操練について
- 資料9 新聞情報

(参考資料) 管内有効求人・有効求職数月別グラフ

## 議 事 概 要

### ◎開 会

【村木海事振興部次長】

〔第76回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

### ◎議 事

(1) 管内の雇用等の状況について

【長谷部部会長】

それでは、議事に入りたいと思います。

お手元にあります議事次第の議題(1)管内の雇用等の状況について、事務局の方からご報告いただきます。

〔鈴木船員労政課長より資料1から資料7、参考資料に基づき報告〕

【長谷部部会長】

どうもありがとうございました。只今の報告内容について、何かご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

丁寧な考察をして下さってありがとうございます。参考になりました。こういうものかという説明でした。

これについていかがですか。

特に無いようですので、ご了承いただいたということで次に進みたいと思います。

(2) その他

【長谷部部会長】

それでは、続きまして議題(2)その他に入ります。添付資料の8について事務局から説明をいただきたいと思います。

〔遠藤船員労働環境・海技資格課長より資料8に基づき説明〕

【長谷部部会長】

ありがとうございます。密閉区画に関する法制度改正の施行内容の説明でした。

船員部会用と上の方に書いてありますけれども、これは、ここだけの資料ですか。

【遠藤船員労働環境・海技資格課長】

下の方に「操練とは」と書いてありますけれども、※印のところを削除して提供することとなります。

【長谷部部会長】

提供前の予備の資料ですか。

【遠藤船員労働環境・海技資格課長】

そうです。

【長谷部部会長】

はい、分かりました。ありがとうございます。何かご質問等ございますでしょうか。

労働者委員の方いかがですか。大丈夫ですか。ということで使用者委員の方も、

よろしく申し上げます。

それでは無ければ、次に進みたいと思いますがよろしいでしょうか。

委員の皆様からの情報提供ということで、労働者委員の方からよろしく申し上げます。

【正路労働者委員】

例年のことではございますが、月末になると労働協約改定要求、通称、皆さんのところでは春闘、うちの方では労働協約改定交渉というような名目ですが、来月1日から、船員の魅力回復、また後継者確保ということで、船主側との交渉が始まります。

今週の火曜日に中央の方で、それぞれ外航部門、国内部門、水産部門で統一した要求を確定いたしまして、それで要求書を月末に提出するというようになっております。

東北については、各社交渉が一般的な交渉形態になっております。中央では、統一交渉というのがあるんですけど、大体は各社交渉が殆どです。以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。鈴木委員の方からも…。

【鈴木労働者委員】

いいです。

【長谷部部会長】

よろしいですか。今日は紺野委員はいいですか。

【紺野労働者委員】

はい、ありません。

【長谷部部会長】

それに関してよろしいでしょうか。

それでは、使用者委員の方からお願いいたします。

【湯村使用者委員】

では、私の方から。

新聞情報の5ページに丁度、前にも話しましたけども、4年連続で新造船の申請が100隻に到達というような内容の見出しの記事がありますが、以前お話ししたように、100隻を超える新造船がまた誕生する見込みであるということで、業界にとっては非常に喜ばしいことなんですけども、反面、199トン型とか、そういった小型船、一杯船主は船員不足の原因とか、あと船主さん本人が高齢になったり、なかなか新造できるぐらいの水準の運賃を確保できないということで、新造も諦めて、ここに来て廃業する船主さんが多数出てきています。

こういった動きは今後も当分続くんじゃないかというような見方をされているようです。

何かこういった片方で100隻建造、片方でそういった廃業者が続出するという何か内航業界の全体の形態が変わってきていると言いますか、一杯船主が減って、財力のある、ある程度のボリュームのあるオペレーターが生き残っていく、そういった構造に変わっていくのかなというような感じを受けています。

【長谷部部会長】

内航における淘汰ですか。そう言っちゃうとまずいですか。

【湯村使用者委員】

まあそういうことです。

【船津公益委員】

でも、内航の業界誌を見ますと、2015年の予想が何か増収増益、燃料油の値下がりもあって、業界全体としては、小さいところでは色々あると思いますけど、そういう予想がされていました。

【湯村使用委委員】

そうですね。予測なんですけども、実態はどうなんでしょうか。

バンカーサーチャージで燃料油が上がった時には、その分上乘せでいただいていた部分があるんですけど、今度燃料油が下がれば、そのバンカーサーチャージはどんどんカットされていくということで、差し引きで考えると、上がった時には十分に補填してもらえないのに、下がった時はどんどん下げられるというような実態もあるようで、見方は色々あるようなんですけども、結構苦しい状況は依然として変わっていないですね。外航海運とはやっぱり違うので…。

【船津公益委員】

でも、内航業界でもセメントとかタンカーとか色々業種別に大体矢印がかなり上の方を向いていた。2015年の予想でこうやって向いていたんですけども…。

【湯村使用者委員】

ただ、荷物も、昨年12月、11月位に底を打ったというような、景気の底打ちがあったという報道もありますけど、業界の荷物量、貨物量としては、2015年度は良くて今年度並み位というような見方をされているんですね。

【長谷部部会長】

業界内部では厳しい見通しのもとで予測を立てているという話ですね。

【湯村使用者委員】

そうですね。

【長谷部部会長】

伝えられている情報とは随分異なる現状があるというご主張ですね。ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。佐藤委員は…。

【佐藤使用者委員】

我々は燃料問題が解決したんで一安心しているところですが、今年のシーズンに向かっては天候次第ということで、お天道様にかけるしかないですね。

【長谷部部会長】

それでよろしいですか。必ずしも楽観的には言えないと。

あ、そうか、バトルになっている訳ですか。

【湯村使用者委員】

そうですね。余り軽率なことを言えないですね。

【長谷部部会長】

すみませんでした。ちょっとのんびり聞いてしまいました。という文脈でした。どうもありがとうございます。

それ以外に何かございますでしょうか。

【正路労働者委員】

あと一つ、いいですか。

【長谷部部会長】

はい、お願いします。

【正路労働者委員】

この場では余り関係ない話ではございますが、北海道の練習船で学生が行方不明になったということで、新聞情報にもあるんですが、福島丸が1月30日に出航して操業していたんですが、一昨日かな、操業を中止して捜索に向かったということで情報が入ってきました。

ただ、向かってはいるんですけど、発見には至っていないということです。

【長谷部部会長】

事故なんですか。

【正路労働者委員】

マスコミ報道では、本人が映っている映像があるということなので、海中転落なんだろうねということではあります。

【長谷部部会長】

楽観的には見られないんですか、そうなる。

【正路労働者委員】

そうですね。

【長谷部部会長】

悲しいお話しでした。

【正路労働者委員】

もちろん、福島丸の方も、生徒たちに引き締めるような意味で気をつけろというのはやっているみたいですけど。

【長谷部部会長】

はい、どうもありがとうございました。

その他にはいかがでしょうか。

【湯村使用者委員】

質問なんですけど、安全マネジメントに関してなんですけど、よろしいですか。大したことじゃないんですけど。

例えば内航の小規模事業者で、陸上社員が社長を含めて2人しかいないというような場合、安全統括管理者とか、運航管理者、内部監査員、色々な役割分担、組織が必要になりますけども、2人の人数ではそういうのを満たせませんが、そういう場合にはどういう指導をされているんですか。

【村木海事振興部次長】

海事振興部の所掌業務ではないですけども、例えば船主さん1人で、経営トップ兼安全統括管理者兼運航管理者兼船長みたいな形もできますので。

【湯村使用者委員】

兼務もできるんですか。

【村木海事振興部次長】

そうですね。それぞれ要件を満たす必要はありますが大丈夫ですので、個別に担当の方に当たっていただければと思います。

資格要件を満たさないと、場合によってはダメということもありますので…。

【鈴木船員労政課長】

安全マネジメントの制度自体が小規模事業者にとってどうかということですね。

1人か2人しかいないのに何を体制上つくればいいのかということなんですよ。そういう規則なのでつくっていただくしかないと言えないんですけど、結局陸上の方で社長しかいないというのであれば、社長が全部、安全統括管理者から運航管理者からやって、社長が自らやっていると思うんですけども、乗組員にちゃんと安全意識を持つように常に指導をコミットメントして下さいという制度なので、そうやっていただくしかないと思います。

【湯村使用者委員】

兼務できるのかなという疑問があって…。

【鈴木船員労政課長】

兼務も、運航管理者と安全統括管理者の資格要件が別々にありますので、両方とも要件を満たしているのであれば、それは可能です。

【矢島海事振興部長】

多分、もう既に安全管理規程を届け出ていると思うんですが。

【湯村使用者委員】

もう監査も受けています。

【矢島海事振興部長】

そうですね。今お話ししたように、多分もう任命をされているはずです。

【湯村使用者委員】

うちの会社はいいんですけど。

【矢島海事振興部長】

P D C Aサイクルというのが安マネにありまして、大きなところなどは、国交省は今3年連続評価をやっていますけれども、小さいところも、うちの海安部の方でできるだけそういう精神はやらしてもらおうと、いわゆるP D C Aというサイクルで1年経過したら、その結果どうだったのかを考えてもらうなどです。

人数が少なくても、年間の業務を反省してそれを次年度に結びつけるというような考え方は相変わらずやってほしいということです。

ただ、実際おっしゃるとおり、大規模に比べると小規模のところは、内部監査についても、実行しているところは少ないのではないかなとは思いますが、いずれにしても安全管理規程の制度自体がそういうP D C Aを前提とした制度で、今事業者の方から届けられていますので、それを遵守してやっていただくということです。

だから、そういう形で指導していると思います。恐らく任命の方はもう既に運輸局の方に届けているんだと思います。

【湯村使用者委員】

運航管理者を選任する場合、例えば交代とかそういった場合に申請しますが、

審査期間はどれくらい必要なんですか。

【矢島海事振興部長】

審査期間は、確か事前届出制だったと思います。

【鈴木船員労政課長】

届出なので、審査期間は基本的に無いです。出されたものが、資格要件が無ければダメですということで返されます。受理できませんと。

【湯村使用者委員】

満たしていることが確認できれば、その場で受理していただけるということですか。

【鈴木船員労政課長】

はい。

【矢島海事振興部長】

ですから、届け出れば基本的にはマルということ。ただし、資格要件上不適切であれば変更をお願いします。

【湯村使用者委員】

弊社で近々そういうことがあると思うので、その時にはよろしくをお願いします。

【長谷部部会長】

ということで、よろしくご対応下さい。よろしいですか、それで。（「はい」の声あり）

では、他にございますでしょうか。

無ければ、本日の議事は終了となります。

次回の船員部会ですが、3月20日金曜日15時30分から、会場はこの4階の会議室で開催となります。

◎閉 会